

介護学ぶ留学生確保へ 光星学院と仙台の法人 連携

令和2年6月11日 光星学院 美保野キャンパス



八戸学院大学を運営する
学校法人光星学院(八戸市、
法官新一理事長)と一般財
団法人東北多文化アカデミ
ー(仙台市、押谷祐子代表理
事)は11日、国際文化交流の

協定書に署名した法官理
事長(左)と押谷代表理事

推進と人材育成に向けた連
携協定を締結した。同アカ
デミーは、連携している海
外の教育機関などから日本
で介護資格取得を目指す人
材を募集し、同大短期大学
部介護福祉学科への留学を
仲介する。法官理事長は「地
域で不足している介護人材
を育成し、地域社会の発展
に寄与したい」としている。
同アカデミーは2010
年設立で、仙台市を中心に
留学生の受け入れと支援事
業を展開。法務省告示日本
語教育機関として、中国や
フィリピン、ベトナムなど
主にアジア圏から来日した
留学生への日本語教育のほ
か、進学・就職支援などを

行っている。本県の教育機
関との協定締結は初めて。
光星学院によると、早け
れば22年度から同アカデミ
ー仲介の留学生を最大20人
程度受け入れる。入学を希
望する留学生には1年程度
同アカデミーで日本語を習
得してもらい、入試で受け
入れ可否を決める。学費は
留学生が卒業後に就労する
介護施設からの奨学金や県
の補助金を活用する方針。
締結式は同大で行われ、
法官理事長と押谷代表理事
が協定書に署名した。押谷
代表理事は「外国人がこの
キャンパスにあふれること
を夢見ている」と語った。
(千葉真由美)

東奥日報社提供

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです